

# 平成梅林整備推進事業 第1回植樹祭開催!



## 会長挨拶

偕楽園公園を愛する市民の会  
会長 和田 祐之介

この度平成梅林におきまして、第一回の植樹祭をおこなうことになりました。昨年の二月に計画を発表しましてから、十一ヶ月になりますが、県内外の沢山の偕楽園公園を愛する皆さんの御協力、そして県当局から苗畑のご提供をいただき、今回を迎えられましたことに大きな感動を覚えるとともに、心より御礼を申し上げます。当日は、橋本昌茨城県知事、加藤浩一水戸市長ほかによる記念植樹と苗畑開園式、参加者による梅苗の植え付けを予定しています。なお、ご参加の皆様には当会の行事で作りました、偕楽園の梅を使用した「偕楽園の梅干」(伝統製法で作った昔梅干)を全員に用意しております。沢山の市民の皆様にご出席を頂き、日本一の梅林整備の第一歩を踏み出したいと思っております。

来年二月には第二回の植樹祭を開催いたします。その後除草、施肥、剪定、薬剤散布などの管理をし、成木になるまで十年ちかい歳月を要することになるかと思っております。どうぞ末永く偕楽園に関わることを「偕に楽しみたい」と思っています。

## 第一回植樹祭及び開園式

平成梅林のスタートの行事として、植樹祭を行う運びとなりました。昨年末に注文した梅の苗木約三〇〇本を新設される苗畑に植樹します。また、水戸市植物公園で育成した梅の成木を、記念植樹として隣接地に移植します。

- ・平成二十年二月十六日(土)
- ・場所 苗畑(好文橋北あずま屋付近)
- ・時間 一〇時〜一時半頃

詳細は別紙案内状をご覧ください。なお、当日予定していました記念講演会は、三月中に予定されています総会後に実施します。

## 苗畑の詳細

県が今回造成された苗畑は左図のように、好文橋北の「猷木の森」の位置で、三つの区画から成り、合計二七四二㎡(約二・七反)です。ここを成木に育つまで苗畑として使わせていただきます。



苗畑の位置

## 今後の平成梅林事業

二年度分として本年一月、約二〇〇品種四〇〇本の苗木を接木育成することになりました。旧東京都立農林高等学校(現青梅総合高校)のご協力で穂木を採取していただき、水戸市の天神山木楽園主寺門久男氏に接ぎ木していただきます。この苗木は、平成二十一年二月に第二回植樹祭を行い、今回造成していただいた苗畑に植え付ける計画です。これで、約四〇〇品種の貴重な梅の品種が揃うこととなります。

この苗木を早ければ平成二十五年以降に予定されている定植まで育てていくことが、今後の課題になります。今年春以降、除草、施肥、剪定、薬剤散布など苗畑の管理が始まります。そこで、市民の力で貴重な梅の品種を守り育てる「梅ボランティア」を募集します。皆様のご協力をお願いいたします。

## 募金事業

平成十九年十二月十八日常陽銀行有志様から八四・五万円のご寄付があり、助成金を含めて合計五二五万円となりました。募金は引き続き継続し、今後の事業の充実に備えます。

### 平成梅林整備募金計画

- 一 趣旨  
確かな品種の梅樹を育て、偕楽園公園内に平成梅林を整備する資金を募る
- 一 事業  
梅苗木を購入育成し、偕楽園公園内の平成梅林に定植・管理する
- 一 募金内容  
個人1口 2,000円  
法人1口 10,000円